

研修報告書

焼津市議会議長 様

議員氏名 石原孝之

令和 6 年 6 月 26 日の下記のことについて、研修に参加したため、概要について報告いたします。

研修名	自治体・公共 Week 2024～自治体 DX 展～
研修の目的	先駆的な自治体の取組事例を今後に活かすため
所 感	東京ビッグサイトで三日間開催。初日に来場しました。会場はとても広く、たくさんの自治体向けのシステムや導入事例を持つ企業ブースが出展されてました。注目していた自治体のセミナーに参加。今回は、北九州市と横須賀市の DX の取組。DX を推進した背景や課題、今後の目指すビジョンなどの内容でした。(今後の参考となる事項の細は、別紙添付、報告書①報告書②参照) 北九州市の書かない、待たない、行かなくていい、市役所へ。きめ細かく、丁寧で、考える、市役所へ。働きやすく、いきいきと、成果を出す、市役所へ。の実現へ。AI.RPA(ロボットを使った業務の効率化)の利用促進 AI 議事録ツール ローコードツールkintone使用とのことでした。労働人口が減少する中、生成 AI やローコードツールを使用し、業務改善し、コストの試算を算出して、数値として根拠があったので、とても分かりやすかったです。DX 推進計画は焼津市も 2022 年から 2025 年までの間の策定しており、まだまだ業務改善をできることがたくさんあるので、システム導入や使用する職員の理解含め益々醸成していかなければならないと感じます。
今後の参考となる事項	別紙添付(報告書①、報告書②)

* 上記に書ききれない場合は、適宜別紙を添付してください。

* 参考資料等がある場合は、添付してください。